

## 教育目標 「自ら きたえる」

意欲をもって学び続ける力・自分を豊かに表現する力・良好な人間関係を築く力



～ 4年生の「落ち葉掃き大作戦」に他学年も協力！～



新潟市立関屋小学校 学校だより

# しおなひ

令和六年十一月二十九日

第363号

## ささやかな習慣

校長 川又 健司

先週から急に寒くなり、すっかり冬の様相となりました。子供たちの服装から、各御家庭で防寒等に気を配っていただいていることが分かり、感謝しております。

玄関の傘立ても一杯になることが多くなりましたが、関屋小学校の傘立てはいつもきれいです。子供たちが傘をちゃんと巻き、ボタンやマジックテープで留めて入れてくれるからです。それも、ほとんどの子供たちが、何も言われなくても当たり前のようにやってくれます。

三年前に着任した時は、朝玄関で挨拶をしながら、「巻いて入れようね」とたびたび声を掛けました。また、全校朝会などでも話しました。理屈としては、①細く巻いた方が穴に入れやすい、②傘が痛まない、③お互いに場所(番号)が見付けやすい、となります。賢い関屋小の子供たちですから、きちんと説明すればちゃんと理解し、実行してくれます。あとは、毎年一年生が入学した当初だけ、そのまま入れようとする人、「はい、くるくる巻いて入れようね」「そうそう、上手上手」と声を掛ければ、みんなやってくれます。ささやかな習慣ではありますが、大切にしたい習慣でもあります。

教員に成り立ての頃、学習の中でこのささやかな習慣を付けたいと思いました。例えば算数で、筆算をする際に線をきちんと定規で引いてほしい。そこで、そう伝えるだけでなく、定規を使っている人と使っていない人の計算テストの結果分布を学級だよりに掲載しました(もちろん名前などは出さずに)。相関関係は、一目瞭然でした。定規で線を引く丁寧さ、慎重さは、計算ミスを防ぐ姿勢にも通じますから、当然と言えば当然かもしれません。

今ならクレームの出かけない行為でしたが、新米教師に温かな目を向けてくださったって保護者からは、何も文句や問い合わせはありませんでした。子供たちのケアレスミスも、ずっと少なくなりました。人はそれぞれに性格や個性も違います。そういったことが苦手だからと言って、全部が駄目なわけではありません。別な面での長所もあるでしょう。しかし、このようなささやかな習慣がいろいろ身に付いていた方が、生きていく上では何かと都合が良いように思います。ささやかな習慣を身に付けるには、近くにいる大人の手助けも大切かもしれません。

# 新潟市小学校音楽祭「にじいろ音楽祭」



11月8日(金)、にじいろ音楽祭に3年生と4年生が出場しました。3年生と4年生が心をひとつにしてひびきの集いの曲目「気分ひとつで」「すてきな友達」の2曲を歌いました。すてきな歌声がりゅーとぴあのホールに響き渡りました。保護者の皆様、応援、ありがとうございました。

## 【3年リトルファイヤースクール】



社会科の学習で、中央消防署の方から消防の仕事について教えていただきました。その後、煙体験や水の消火器体験をしました。また、消防士の服も着せていただきました。

いざというときのために今回の経験を生かしてもらいたいです。



## 12月の主な予定

- 2月 4時間授業  
個人懇談(11/28~12/3)
- 3火 全校朝会、4時間授業
- 6金 職員研修のため全校5時間授業
- 9月 スクールカウンセラー来校日
- 10火 関小フェスティバル
- 11水 市小研、4時間授業
- 12木 6年サッカー教室  
書初指導
- 13金 書初指導
- 16月 クラブ最終
- 18水 避難訓練、絵本ボランティア
- 23月 給食最終日
- 24火 冬休み前最終日  
全校朝会、3時間授業
- 25水 冬季休業開始(1/8まで)
- 27金 学校閉庁日(1/5まで)

# ひびきの集い

R6.11.2

「ひびきの集い」主任 教諭 植田 奈々加

暑い暑い7月、8名の実行委員とともに「ひびきの集い」に向けて活動が始まりました。夏休みには職員で研修を行い、9月からは衣装ボランティアの皆さんの協力を得て、本番に向けて学校全体で取り組んできました。今年は全員が「演者」であることを意識し、一体となって創り上げることができたのではないかと思います。子供たちがくれた感動は、今でも忘れられない宝物です。

実行委員長 6年 S・H

僕は実行委員長になった時、最初は成功させられるか不安でした。みんなの「成功させよう」という気持ちに負けずに、僕も必死に演技指導をしました。そして本番。全校のみんなが僕の想像を超えるすごくいい演技をしていました。「みんなが感動！ 一人一人の思いを伝えよう！」というスローガンのように、感動が伝わるひびきの集いになってよかったです。



1年 N・H

はじめてのひびきのつどいがありました。1年生は木のせいのやくでした。きんちょうしたけれど、じぶんのことばをいっしょうけんめいにいえてよかったです。わたしがいちばんすてきだとおもったシーンはライオネルがとうじょうしたところです。とてもかっこいいなとおもいました。わたしもあんなふうにセリフをいえるようになりたいです。らいねんもがんばりたいです。

2年 S・M

わたしは、へいたいのやくをえんじました。自分のめあては、体ぜんたいでひょうげんをして、やくになりきるでした。本番は、大きな声でセリフを言ってめあてができてよかったです。ひびきのつどいは、せきや小学校にしかないぎょうじなので大切です。そして、ぜん校みんなできょう力をしてげきを作り出すところがすごいです。

※写真はリハーサル時のものです。

### 3年 H・C

私がひびきの集いで心に残ったことは、2つあります。1つ目は、一人一人が自分の役わりを果たしていたところです。今年のスローガンは、「一人一人の思いを伝える」なので、3年生みんなそれぞれセリフを伝えられてよかったです。2つ目は、「みんなが感動」というスローガンです。私は、今年の話から「友達のありがたみ」を感じました。来年は上学年になるので、キャストになって、感動できる話をしてみたいです。

### 4年 S・A

ぼくは、大道具係を担当しました。準備の活動が始まったばかりのころは、本当にひびきの集いまでにダンスの森を完成させることができるのか不安でした。でも、本番までに力をあわせて完成させることができました。本番では、ステファヌスが乗る岩を運ぶ係でした。とても緊張したけれど、練習どおり目立たず運ぶことができました。来年もみんなひびきの集いを完成させたいです。



### 5年 E・M

私は主役のライオネルで、最初の場面を任せられました。周りからの助言は、とにかくライオネルになりきることでした。私は笑顔で無邪気なライオネルをイメージしていたので表情を工夫し、お客さんにおもしろいと思ってもらいたいという気持ちで演じました。本番前はとても緊張しましたが、たくさんのお客さんに見てもらえてとても気持ちよかったです。たくさんのお客さんありがとうございました。

### 6年 K・M

私は大道具係を担当しました。森の木やレストラン「白鳥の王様」をつくりました。私の考えたレストランのデザイン案が採用されて、うれしかったです。レストランを作る時は、大きくてバランスを取るのが大変でした。練習では、道具を出し入れしたり、移動させたりするタイミングが難しかったけれど、がんばって覚えました。本番はみんなで協力して、ひびきの集いを成功させることができました。